

# 北海道浮魚ニュース

平成 14 ( 2002 ) 年度 3 号 ( 通巻 No.123 )

2002 年 6 月 10 日

北海道立水産試験場

ホームページ : [http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki\\_index.htm](http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm)

## 日本海スルメイカ北上期調査結果

函館水試調査船金星丸により行われたスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査期間 : 2002 年 5 月 28 日 ~ 6 月 4 日
- ・調査海域 : 日本海 ( 秋田県男鹿半島南西沖 ~ 津軽海峡西口 )  
( 調査点 22 点中海洋観測は全点、漁獲調査は 5 点で実施 )
- ・調査船 : 金星丸 ( イカ釣機 5 台、イカ用集魚灯 20 灯装備 )  
昨年 ( 2001 年 6 月 6 日 ~ 13 日 ) のデータと比較しました。

### 1. 水温分布

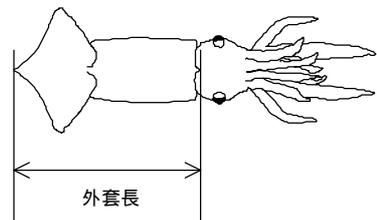
St.1 を除く各点での表面水温は、昨年に比べ 0.8 ~ 3 ほど低い値を示していました。St.1 では昨年よりも 1.4 高い値を示していました。また、男鹿半島以南では 15 ~ 17 であり、以北では沿岸域で 16 前後、沖合ほど低くなり東経 139 °以西では 13 ~ 14 でした。水深 50m 層では、東経 139 °を境に東側では 7 ~ 12 、西側では 3 ~ 11 を示し、2001 年に比べ、東側で高め、西側で低めの傾向を示していました。

### 2. 分布密度 ( 図 1、表 1 )

調査を行った 5 地点の CPUE ( 2 連式イカ釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数 ) は、1.7 ~ 126.2 の範囲にありました。この値は全調査点で 2001 年の値を下回りました。また、全点の平均は 33.7 であり、1997 年 ( 平成 9 年 ) に近い値を示しました。

### 3. スルメイカの大きさ ( 表 1 )

スルメイカの外套長 ( 胴長 ) は、調査点全体で 13 ~ 22cm ( 2001 年 12 ~ 24cm ) の範囲にありました。モード ( 最も多く漁獲されたイカの大きさ ) は 16 ~ 18cm にあり、2001 年 ( モード 18 ~ 20cm ) に比べると小型でしたが、1999 年 ( モード 15 ~ 17cm ) よりは大型でした。



これらの結果から 「今年の北上群は、外套長のモードが17cm前後の比較的小型で、来遊量は1997年なみ。特に津軽海峡西口で比較的多い。」ことが予想されます。

( 文責 : 函館水産試験場資源管理部、TEL : 0138-57-5997 直通、FAX : 0138-57-5991 )

図1 スルメイカ漁獲調査結果 2001年との比較

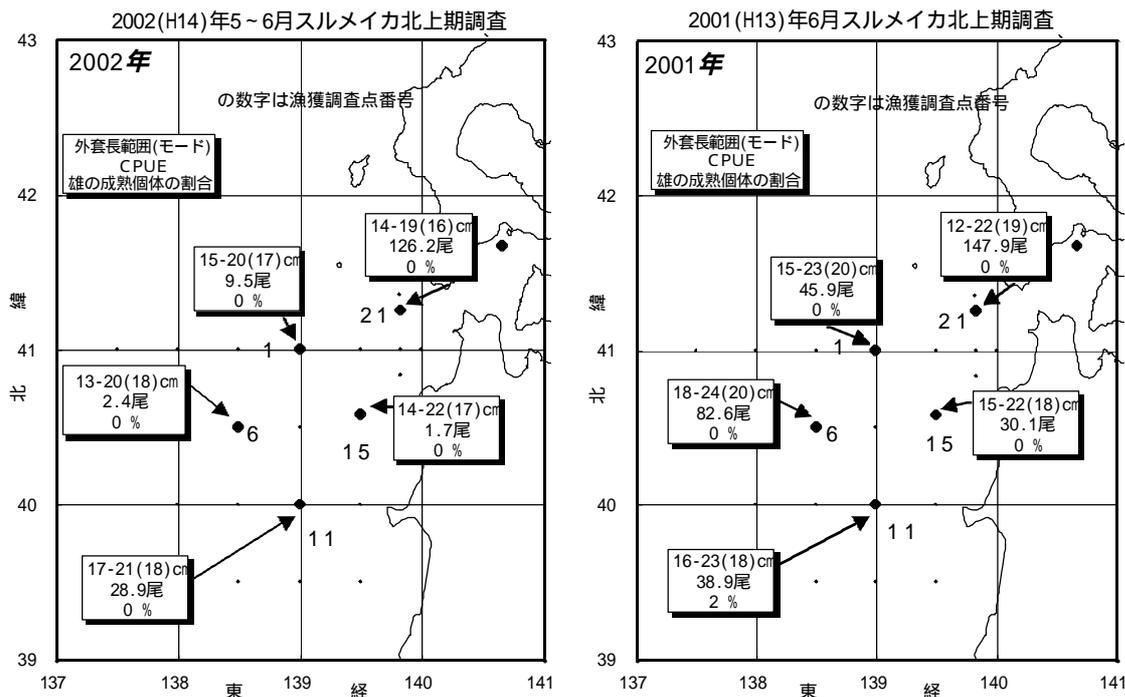


表1 金星丸 日本海スルメイカ北上期調査結果 経年比較

	北緯	東経		(H8)	(H9)	(H10)	(H11)	(H13)	(H14)
				1996	1997	1998	1999	2001	2002
ST 1	41-00	139-00	cpue(尾/台・時間)	0.08	40.7	3.3	2.7	45.9	9.5
			外殻長範囲(cm)	14-16	16-22	15-22	13-18	15-23	15-20
			モード(cm)	-	17	20	15	20	17
			水温 0m( )	11.0	14.7	15.8	15.6	14.3	15.7
			水温 50m( )	4.1	10.3	10.6	7.1	5.4	8.8
ST 6	40-30	138-30	cpue(尾/台・時間)	0.07	16.1	4.7	8.6	82.6	2.4
			外殻長範囲(cm)	12-14	16-23	16-25	12-18	18-24	13-20
			モード(cm)	-	21	22	16	20	18
			水温 0m( )	11.3	15.8	15.9	15.2	15.4	14.6
			水温 50m( )	2.2	9.5	8.8	7.4	6.1	5.2
ST 11	40-00 男鹿沖	139-00	cpue(尾/台・時間)	5.0	49.7	4.3	30.8	38.9	28.9
			外殻長範囲(cm)	14-21	17-24	16-24	15-19	16-23	17-21
			モード(cm)	18	19	21	17	18	18
			水温 0m( )	19.3	15.6	16.2	17.0	18.4	15.4
			水温 50m( )	12.3	11.2	8.8	10.5	10.2	7.6
ST 15	40-35 久六島沖	139-30	cpue(尾/台・時間)	17.1	30.5	3.4	8.2	30.1	1.7
			外殻長範囲(cm)	14-20	15-20	17-23	15-20	15-22	14-22
			モード(cm)	17	17	18・21	16・17	18	17
			水温 0m( )	17.8	15.2	17.5	15.2	17.2	16.2
			水温 50m( )	12.8	11.8	12.6	10.8	12.3	13.2
ST 21	41-15 松前沖	139-50	cpue(尾/台・時間)	6.4	55.0	10.2	17.0	147.9	126.2
			外殻長範囲(cm)	15-20	15-22	13-20	11-18	12-22	14-19
			モード(cm)	17	17	18	16	19	16
			水温 0m( )	17.0	15.1	14.4	15.9	16.6	15.4
			水温 50m( )	11.6	10.6	8.5	12.7	10.4	11.1
ST.1-21の5調査点の平均									
cpue(尾/台・時)				5.7	38.4	5.2	13.4	69.1	33.7
オスの成熟個体の割合(%)				0	0	11.1	0.0	0.4	0.0

注) 2000年は有珠山噴火による噴火湾の監視業務のため、調査が中止となった。